

H19-2 理事会・総会 説明資料
(内容は議決後の状況に修正済)

理事会・総会スケジュール

平成20年3/8（土）航空会館 504会議室

- | | | |
|-------------|-----------------|--------------|
| 13:30-13:40 | 定足確認、議事録署名人任命 | 吉田茂理事、万場泰雄理事 |
| 13:40-15:50 | 総会・理事会 | 議案説明 |
| 15:50-16:00 | 休憩 | |
| 16:00-17:00 | 議案説明、理事会決議、総会決議 | |
| 17:15-20:30 | 懇親会“魚八” | となりのビルの地下一階 |

総会・理事会議案説明・決議

予定している議案

- | | |
|-------|---------------------|
| 前提条件 | ① 公益社団法人となる。 |
| | ② 滑空スポーツ統括団体となる。 |
| 議案第1号 | 平成20年度事業計画案 |
| 議案第2号 | 平成20年度予算案 |
| 議案第3号 | スポーティングイセンス（SL）費用の件 |
| 議案第4号 | クラブクラス滑空競技会開催の件 |
| 議題第5号 | 基本財産正常化のための積立金新設 |

理事会として決議を行った後、総会決議を行います。

議案第 1 号前提

公益社団法人か、社団法人のままか

	メリット	デメリット
公益社団法人	行政民営化機能で社会的信用が高い	* 総務省に申請し、認可を受ける。 * 所轄官庁へ報告し、指導を受けて活動する。
	税制上優遇される * 無税又は低減税率の適用 * みなし寄付の割合が多い * 指定寄付者の税控除可能	会員へのサービスでは無く、不特定多数へのサービス（会員は会費を払うだけ?）
社団法人継続	申請だけで設立	移行作業は必要
	活動は自由	税制上の優遇処置は無い

公益：不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するもの。

公益目的事業：23 業種が規定されている。

滑空スポーツ：“教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業 “

スポーツ統括団体か このまま継続か

① スポーツ統括団体とは

項目	内容
全国組織理解	* 滑空団体、会員、施設、滑空活動のデータ集計
指導方針	* 育成・免許取得カリキュラム、免許制度と国内記章制度の整合、 * 技量維持：技量維持安全講習会、実技認定制度 * インストラクター制度
訓練メニュー	* 初歩訓練、異常姿勢、各種ソアリング、エリア慣熟、クロスカントリー
競技会	* 世界選手権 派遣選手選考基準、支援 * 日本選手権 * 新人レベル、C章レベル、銅章レベル（学生グライダー競技会）
記録認定	* 滑空記録の集計・認定
広報	* 滑空スポーツの社会へのアピール “夢と希望を与える”

② 現状： FAI NAC（日本航空協会）および文部科学省は滑空スポーツ統括団体と認めている。
ただし実態が伴わず、機材人材借用でのイベント開催（滑空団体の役割）は不合理。

③ 利害得失

	メリット	デメリット
スポーツ統括団体	スポーツ振興助成金をさらに受ける。 協賛金を受け易くなる。	現在のマンパワーでは対応できない * 統括のための業務が増える。 * スポーツ振興活動業務が増える。
現状維持	現在のマンパワーで対応できる 範囲で活動する。	補助金は削減されている。 企業からの協賛金は得にくい。

平成 20 年度事業計画重点施策 1/2

公益社団法人申請

定款改訂（新法人移行時）

諸事業の整理（特に会計上）

基本財産の正常化：JA2070 除却積立（議題第 5 号）

専門家必要

会計専門家必要

事務局対応

公的業務

指定航空従業者養成施設運営 15 名の技能証明取得目標

航空安全講習会開催全国で 9 回実施予定

指定養成委員

航空安全講習委員・事務局

その他

後援イベント

① スカイスポーツジャパン 08'イン富士山静岡空港
11/7（金 公式練習日）、11/8（土）、11/9（日）

運航委員任命

② スカイスポーツシンポジウム 12/上 航空宇宙学会主催

実行委員任命

FAI 業務対応 IGC ニュース、IGC 総会など

専任担当者必要

スポーティングライセンス 自己負担化（議題第 3 号）

事務局対応 推進協力

低圧体験（7 月、12 月）、セミナー開催 適宜開催

事務局対応

機関紙およびホームページの充実

平成 20 年度事業計画重点施策 2/2

滑空スポーツ統括団体の機能強化

滑空団体データ：代表者、事務責任者、団体形態、会員数

理事が分担担当

滑空場データ：場所、海拔高度、滑走路諸元、VHF 周波数、一般利用可不可

理事が分担担当

活動データ：飛行実績

理事が分担担当

(北海道ではすでにデータ集計されている。別紙参照)

競技規定整備

世界選手権選考規定、日本選手権競技規定

理事が分担担当

競技会開催

クラブクラス競技会開催：5/4-6 於板倉滑空場（議題第 4 号）競技委員スタッフ任命 参加者募集協力

日本選手権開催準備

理事が分担担当 参加者募集協力

日本国内滑空記章制度

カリキュラムと記章制度の整合性

事務局対応

各滑空団体への普及促進

事務局対応 推進協力

後援競技会・イベント参加資格への適用

事務局対応 推進協力

日本滑空記章試験員の任命、FAI 公式立会人推薦（12 月）

事務局対応

フライトトレーニング開催

異常姿勢からの回復トレーニング

実施滑空団体募集 参加者募集協力

エリア慣熟

実施滑空団体募集 参加者募集協力

クロスカントリークリニック

事務局対応 参加者募集協力

補助金申請対応

事務局対応 企画立案・申請等支援者必要

平成 20 年度年間計画（4 月～7 月）

2008	4 月	5 月
協会法人業務	H20-1 総会準備	中旬 H20-1 総会（H19 事業報告・決算報告） 上記に関する登記・大臣届出
主催競技会		5/4-5/6 クラブクラス滑空競技会（板倉滑空場）
主催イベント	中旬 XCクリニック（妻沼滑空場）（板倉滑空場）	エリア慣熟（実施滑空場募集）
主催セミナー		
航空安全講習会	20 年度全国で 9 回実施予定	
後援競技会		5/4-5/6 藤倉チャリティカップ競技会（板倉滑空場）
		中旬 第 2 回久住山岳滑翔大会〔久住滑空場）

2008	6 月	7 月
協会法人業務		新法人申請準備
主催競技会		
主催イベント		上旬 低圧チェンバー（JAXA 9名募集）
主催セミナー	世界選手権壮行会	
航空安全講習会		
後援競技会		

平成 20 年度年間計画（8 月～11 月）

2008	8 月	9 月
協会法人業務		
主催競技会		
主催イベント	安全飛行大会（実施滑空場募集）	
主催セミナー		世界選手権報告会
航空安全講習会		
後援競技会	8/2-8/16 第 30 回 F A I 世界滑空選手権（Lusse 独）	9/20 空の日（航空会館）
	中旬 第 12 回原田覚一郎杯大学対抗グライダー競技会（妻沼） 下旬 第 11 回東京六大学対抗グライダー競技会（妻沼）	

2008	10 月	11 月
協会法人業務		日本滑空記章試験員任命 公式立会人推薦
主催競技会		
主催イベント		安全飛行大会（実施滑空場募集）
主催セミナー	航空無線（VHF20 年）	気象に関するセミナー
航空安全講習会		
後援競技会	中旬 第 11 回全日本学生グライダー新人競技大会（木曾川）	11/8-9 スカイジャーニャパン 08'（富士山静岡空港）

平成 20 年度年間計画（12 月～3 月）

2008	12 月	1 月
協会法人業務	新法人申請（総務省） 年賀状発送	事業報告・事業計画立案 日本滑空記章試験員・公式立会人説明会
主催競技会		
主催イベント	上旬 低圧チェンバー（JAXA 9名募集）	安全飛行大会（実施滑空場募集）
主催セミナー		
航空安全講習会		
後援競技会	中旬 スカイスポーツショールーム（航空宇宙学会）	

2008	2 月	3 月
協会法人業務	決算まとめ・予算案立案 FAI IGC総会準備	上旬 H20-2 総会(H21 事業計画・予算) 上記に関する登記・大臣届出 上旬 FAI IGC総会
主催競技会		
主催イベント		
主催セミナー		
航空安全講習会		
後援競技会		上旬 第 48 回全日本学生グライダー選手権大会（妻沼） 第 46 回全国七大学総合体育大会グライダー競技の部 中旬 （関宿）

議案第 2 号 平成 20 年度 収支予算案 1/3

収入の部

勘 定 科 目		平成 20 年度	平成 19 年度	増減額	平成 20 年度予算算定根拠
大科目	中科目	予算額	予算額		
基本財産運用収入		884	884	0	
	基本財産利息収入	884	884	0	
会費収入		7,350,000	7,240,000	110,000	
	入会金	450,000	250,000	200,000	5,000 円*40 名
	会員会費	6,500,000	6,490,000	10,000	10,000 円*650 名
	団体会員会費	400,000	500,000	-100,000	50000*8 団体
補助金収入		2,000,000	2,000,000	0	
	スポーツ振興基金助成金	2,000,000	2,000,000	0	競技会、飛行講習会(申請 420 万)
	子どもゆめ基金	0	0	0	子供グライダー教室
寄付金収入		0	0	0	
	寄付金、協賛金	0	0	0	
事業収入		4,375,000	7,400,000	-3,025,000	
	参加料収入	1,000,000	1,000,000	0	
	負担金収入	0	0	0	
	寄付金、協賛金	2,000,000	4,000,000	-2,000,000	
	記章交付手数料	75,000	350,000	-275,000	1500 * 50 名(バッジ交付申込)
	機関紙広告収入	400,000	800,000	-400,000	
	公認料収入	0	0	0	
	指定養成施設入所料	900,000	1,250,000	-350,000	15 名*60000
	その他	0	0		
雑収入		76,023	76,023	0	
	受取利息	23	23	0	
	印刷機分担金収入	76,000	76,000	0	
	その他	0	0	0	
本年度収入合計 A		13,801,907	16,716,907	-2,915,000	
前期繰越収支差額		475,524	873,558		
収入合計 B		14,277,431	17,590,465	-2,915,000	

議案第 2 号 平成 20 年度 収支予算案 2/3

支出の部

勘 定 科 目		平成 20 年度	平成 19 年度	増減額	
大科目	中科目	予算額	予算額		
管理費					
	役員報酬管理費分	120,000	600,000	-480,000	管理費 20%事業費に 80%配分
	給料管理費分	480,000	1,200,000	-720,000	管理費 20%事業費に 80%配分
	委託費	300,000	1,260,000	-960,000	会計処理業務 2.5*12 ヶ月
	福利厚生費	0	0	0	
	会議費	160,000	80,000	80,000	総会会場費
	旅費交通費	200,000	200,000	0	
	通信運搬費	300,000	300,000	0	総会書類送付・PC-LAN 費用
	消耗什器備品費	150,000	350,000	-200,000	PC・LAN システム増強
	消耗品費	50,000	50,000	0	封筒用紙プリンターインクなど
	修繕費	0	0	0	
	印刷製本費、	0	100,000	-100,000	総会資料 内部でプリント
	光熱水料費	0	0	0	家賃に含まれる
					94,500 円 × 12 月
	事務所家賃管理費分	227,000	1,134,000	-907,000	管理費 20%事業費に 80%配分
	賃借料	0	350,000	-350,000	
	保険料	4,000	10,000	-6,000	JA2070 火災保険料
	租税公課	80,000	80,000	0	
	負担金支出	0	0	0	
	支払手数料	250,000	250,000	0	システム収納(会費収集など)
	雑費	0	380,000	-380,000	
管 理 費 合 計		2,321,000	6,344,000	-4,023,000	
特定預金支出					
	準備金積立	700,000	0	700,000	5 年計画の初年度分
特定預金支出合計		700,000	0	700,000	

議案第 2 号 平成 20 年度 収支予算案 3/3

支出の部		平成 20 年度 予算額	平成 19 年度 予算額	増減額	
勘 定 科 目 大科目 中科目					
事業費					
役員報酬事業費分		480,000	0	480,000	管理費 20%事業費に 80%配分
給料事業費分		1,920,000	0	1,920,000	管理費 20%事業費に 80%配分
事務所家賃事業費分					94,500 円×12 月
		907,000	0	907,000	管理費 20%事業費に 80%配分
臨時雇賃金		50,000	340,000	-290,000	パンフレットデザインなど
委託費		1,480,000	1,980,000	-500,000	広報、記章、安全推進、統計
旅費交通費		487,700	787,700	-300,000	主に指定養成
通信運搬費		406,000	1,006,000	-600,000	機関紙配送料
消耗什器備品費		0	0	0	
消耗品費		22,800	22,800	0	
印刷製本費、		1,350,000	1,350,000	0	機関紙・イベント関係印刷費
賃借料		1,060,000	3,060,000	-2,000,000	各種イベント機材借用料
保険料		0	50,000	-50,000	
諸謝金		438,000	1,238,000	-800,000	各種イベント講師謝金
負担金支出		1,000,000	0	1,000,000	世界選手権支援
申請料 (Sporting L)		701,600	801,600	-100,000	スポーツライセンス申請維持費用
会議費		50,000	100,000	-50,000	指定養成連絡会議
支払手数料		0	0	0	
雑費		33,841	33,841	0	
事業費合計		10,387,941	10,770,941	-383,000	
本年度支出合計 C		13,408,941	17,114,941	-3,706,000	
本年度収支差額 A-C		392,966	-398,034	791,000	
次期繰越収支差額 B-C		868,490	475,524	791,000	

別紙1 北海道滑空協会所属団体一覧

団体名	会員数	役職	名前	郵便番号	住所	e-mail アドレス
旭川航空協会	41	会長	林 和成	071-1511	上川郡東神楽町北 1 条西 2 丁目7-6	kazuhay@sweet.ocn.ne.jp
		事務局	金井 乙親	076-0031	富良野市本町 4-1	skyhi@topaz.plala.or.jp
エアロスポートきたみ	54	理事長	高橋 修平			
		事務局	加藤 隆士	090-0801	北見市春光町 4-9-9	tiro@syd.odn.ne.jp
エアロスポート北海道						
		事務局			同上	
札幌航空協会	28	会長	鎌田 庸			
		事務局	藤田 周平	061-1104	北広島市西の里北2丁目2-13	syu-fujita@mti.biglobe.ne.jp
大雪ソアリングクラブ	9	会長	大倉 俊彦	071-0473	上川郡美瑛町字新星第一	asd.okura.biei@ezweb.ne.jp
		事務局	藤本 美波	071-1561	上川郡東神楽町東一線2号13	f-minami@titan.ocn.ne.jp
(社)滝川スカイスports振興協会	230	会長	中島 健			
		事務局	池田 亨	073-0035	滝川市中島町 139-4 たきかわスカイパーク内	sata@rapid.ocn.ne.jp
当麻航空協会	43	会長	平井 操	078-1303	上川郡当麻町 3 条西3丁目	
		事務局	林 和成	071-1511	上川郡東神楽町北 1 条西 2 丁目7-6	kazuhay@sweet.ocn.ne.jp
美瑛航空協会	28	会長	進藤 昇	071-0209	上川郡美瑛町寿町1丁目4-28	joshi@pop07.odn.ne.jp
		事務局	二井田 佐敏	071-0215	上川郡美瑛町扇町	niida@coral.plala.or.jp
北海道大学体育会航空部	10	部長	川端 和重			kaw@sci.hokudai.ac.jp
		事務局	金井 理	060-0813	札幌市北区北 10 条西 8 丁目 北大制御情報工学	kanai@coin.eng.hokudai.ac.jp
北海道大学体育会航空部 OB 会	160	会長	板倉 忠興	005-0012	札幌市南区真駒内上町2-11-1	t-itakura@rivtec.co.jp
		事務局	日口 裕二	073-0018	滝川市朝日町西 2 丁目7-17	JCF06757@nifty.ne.jp
総会員数		644	(実数 約350)			
北海道滑空協会事務局		事務局長:	林 和成	071-1511	上川郡東神楽町北 1 条西 2 丁目7-6	kazuhay@sweet.ocn.ne.jp

別紙2 北海道滑空協会(HSA)飛行実績2007 グライダー

グライダー							
	所属団体	登録記号	機種	飛行時間	飛行回数		活動場所
1	旭川航空協会 (当麻航空協会)	JA2460	ASK13	56 時間 37 分	454	135 時間 22 分	686 当麻スカイパーク
2		JA2452	Ka6CR	11 時間 57 分	61		
3		JA2445	G102 club3b	13 時間 16 分	28		
4		JA2529	SF25C	53 時間 32 分	143		
5	札幌航空協会	JA100K	ASK13	28 時間 31 分	139	60 時間 07 分	215 新しのつ滑空場 飛行日数:19日
6		JA2517	SZD-51-1	11 時間 40 分	31		
7		JA2285	B-4	10 時間 28 分	27		
8		JA2168	SF25C	9 時間 28 分	18		
9	美瑛航空協会	JA2173	ASK13	14 時間 13 分	92	124 時間 13 分	261 美瑛滑空場
10		JA2180	B-4	6 時間 21 分	19		
11		JA2270	SF25E	44 時間 43 分	94		
12		JA2242	Taifun 17E	58 時間 56 分	56		
13	大雪ソアリングクラブ	JA25RF	Rotax Falke	83 時間 19 分	220	199 時間 50 分	324 美瑛滑空場 飛行日数:67日
14		JA2326	ASK21	11 時間 54 分	28		
15		JA2530	LS6C	45 時間 55 分	19		
16		JA20DC	Discus CS	12 時間 48 分	17		
17		JA2503	KIWI	45 時間 54 分	40		
18	SATA (北大、北大 OB 会)	JA2419	Janus CM	36 時間 06 分	14	2181 時間 28 分	3,899 たきかわスカイパーク 飛行日数:161日
19		JA2562	SF28A	110 時間 03 分	260		
20		JA11YD	Duo Discus T	22 時間 12 分	12		
21		JA2401	DG400	10 時間 22 分	8		
23		JA2377	ASW20CL-TOP	33 時間 12 分	27		
24		JA20TD	Discus bT	118 時間 10 分	53		
25		JA26EA	ASH26E	32 時間 28 分	12		
26		JA28TK	DG808	52 時間 19 分	27		
27		JA25HY	DG800	11 時間 59 分	11		
28		JA28AW	ASW28-18E	126 時間 04 分	53		
29		JA28DH	ASW28-18E	32 時間 39 分	26		
30		JA28KY	ASW28-18E	45 時間 59 分	18		
31		JA20HC	ASK21	390 時間 32 分	1,172		
32		JA2410	ASK21	358 時間 46 分	1,071		

33		JA03KH	ASK21	178 時間 41 分	463		
34		JA2544	FOX	28 時間 19 分	88		
35		JA2266	ASW20L	114 時間 37 分	47		
36		JA21GN	PW-5	94 時間 17 分	150		
37		JA21GH	PW-5	82 時間 54 分	95		
38		JA21GK	PW-5	44 時間 59 分	62		
39		JA2296	G102 std3	60 時間 15 分	93		
41		JA2186	Club Libelle	48 時間 16 分	43		
42		JA32BD	Discus a	16 時間 53 分	19		
43		JA211M	LS8	72 時間 51 分	29		
44		JA2430	ASW24	58 時間 35 分	46		
45	エアロスポート北海道	JA2339	G109B	274 時間 10 分	365	274 時間 10 分	365 札幌丘珠空港
46	エアロスポートきたみ	JA2405	Dimona H36	151 時間 07 分	174	289 時間 51 分	647 北見農道空港
47	(北見工大)	JA2528	Dimona H36	9 時間 01 分	14		
48		JA2523	プハッチ	74 時間 44 分	363		
49		JA2301	Ka6CR	3 時間 30 分	9		
50		JA2214	B-4	41 時間 21 分	76		
51		JA2519	SZD-55-1	10 時間 08 分	11		

HSA グライダー総飛行実績 3265 時間 01 分 6,397 (全 51 機・・・実働)

別紙3 北海道滑空協会(HSA)飛行実績2007 曳航機

	所属団体	登録記号	機種	飛行時間	飛行回数		活動場所
1	SATA	JA4067	Robin DR400	381 時間 55 分	2,234	飛行機計	627 時間 59 分 3,824
2		JA40TW	Robin DR400	198 時間 50 分	1,302		
3	エアロスポートきたみ	JA4027	Robin DR400	47 時間 14 分	288		
HSA 航空機総飛行実績				3893 時間 00 分	10,221	(全 54 機・・・実働)	

スポライの必要な場合

FAI Sporting Code General Section Chapter 8

8.1.2 Holder's responsibility

The holder shall sign his sporting licence. In doing so he acknowledges that he knows and understands the FAI Sporting Cords and commits himself to abide by it.

Only holders of a valid FAI Sporting Licence as defined in 8.1.5 are permitted to participate in FAI sporting events and record attempts.

議案第 3 号 スポーツライセンス 2/3

グライダーでスポライの必要な場合

(1) 世界記録・日本記録の樹立飛行

FAI Sporting Code Section 3 Chapter 3

3.0.1 FAI Sporting Licence

The pilot must possess a valid FAI Sporting Licence (GS 8.1) in order to attempt and to claim an FAI world record.

(2) Category 1, 2 の競技会出場

国際競技会 どの国を代表する選手かが問題となる場合
日本滑空選手権 (FAI イベントとした場合)

(3) 公式立会人・日本滑空記章試験員

競技会のレフェリーの立場

公式立会人：(財) 日本航空協会 公式立会人規定

日本滑空記章試験員：(社) 日本滑空協会 日本滑空記章試験員規定

議案第3号 スポーツライセンス 3/3

スポーツライセンス関係データ

現在スポライを保持者	246人		
内 公式立会人	62人		
日本滑空記章試験員	85人		
(両者合計)	87人		
申請料			
有効期間1年間	¥3,500.-		
有効期間2年間	¥5,000.-		
有効期間5年間	¥8,000.-		
再交付	¥2,000.-		
金額 (人数)			
2003年	¥403,200.-	(252名)	
2004年	¥436,800.-	(273名)	
2005年	¥491,200.-	(305名)	
2006年	¥496,000.-	(310名)	
2007年	¥393,600.-	(246名)	
内未納退会者清算分	¥44,800.-	(延28名)	

議案第4号 クラブクラス滑空競技会

開催地：板倉滑空場

日時：5月4日（土）、5日（日）、6日（祝月）

手軽なルール

AAT：毎日タスクを設定

機体にはハンディキャップを付ける

複座機での参加OK

カメラ（デジカメ可）、ハンディGPS可

日本スポーツ振興協会補助金申請中（まだ認可されていない）

協力依頼

競技委員としての参加

参加者を増やすプロモーション

その他

議案第5号 基本財産の正常化 1/2

基本財産について

社団法人の基本財産：公益事業を行う財政基盤の保証

当協会の基本財産

DART・トレーラー	3、328、230. —
定期預金	1、700、000. —
敷金	226、800. —

問題点

DARTは動産のため、減価償却され現在価値は残存価格しか無く、基本財産の役目を果たしていない。(文部科学省、監事の指摘)
公益法人申請時指摘されると予想される。

当初議案

年間70万円で5年間積立てを行い、DARTを基本財産から外す。
外した後の処理は後日決める。

議案第5号 基本財産の正常化 2/2

修正議決案

- * 公益社団法人申請にあたり、基本財産の正常化は必須事項。
- * 文部科学省の意向・認可も必要なので、その確認が必要。
- * まず DART を基本財産から除外し、必要な額を積み立てる。
と言う順序で行いたい。